

岡山県合唱連盟機関紙
トゥッティ 第41号

発行責任者：岡山県合唱連盟

事務局長 内田 毅

事務局：岡山市福泊168-7

TEL.(086)274-2726/FAX(086)274-2730

Tutti

第五十二回

全日本合唱コンクール

全国大会

(中学校高等学校部門)

を終えて

大会実行委員長

田中 浩

十月三十、三十一日の二日間、大変にご苦労様でした。全国大会ともなるとそれぞれの部の気苦労や仕事量は大変なものだと思いますが、それを補って余りあるのも全国大会です。

素晴らしい大会、感動の二日間でした。昨年、浜松の第五十回大会を聞いてすごいなとは思っていましたが、これほどの大会になるとは想像していませんでした。年々レベルが向上していて、歌の実力に関してはおもう定評のある所ですが、このような会は運営と演奏が旨くいってはおいて良い会だったということになるわけで、その点今回は特別旨くいったのではないでしょう。本日は、県連の全員に聞かせてあげたかったというのが、私の今の気持ちです。

大会を聞いた私の感想、まず高等学校部門。

どこが金賞をとってもおかしくない

合唱団ばかり。もうそれくらいレベルが上がっている。歌唱力、表現力、大人顔負け。いやそれ以上。順位は審査員の好みというところかな。順位をつける審査員は本当に大変でしょう。

その中で、福島県立安積女子高校合唱部が、Bグループで二十年連続文部大臣奨励賞を獲得したのは大変な快挙でした。金賞を取るだけでも大変なのに、文部大臣奨励賞を二十回連続です。からただただ驚異です。しかも今年指揮者が転勤され、新しい指揮者でこの大会に臨んだとか。そんなプレッシャーをみじんも感じさせない合唱で、日頃の練習がいかにキチツとされているかということでしょうか。

次に中学校部門。

ここ最近の中学校部門の力は上がっているよ、という話は聞いてはいましたが、まさかこれほどとは。これが本当に中学生の合唱なのかとただただ驚くばかりでした。

それでも混声合唱の部は男声の声変わりしたばかりなので、同声合唱に比べて比較的平易(?)な曲を歌っていましたが、それでも男声の柔らかいこと、堂々たるもの。

ある合唱団のベ이스は大人顔負けの声だった。ピアノ・オーケストラはやるは、素晴らしい指揮はやるはで今年の男子は光っていました。

それとこの混声合唱の部には、合唱の原点とも言える演奏がいくつもあり、時には涙を誘い、時には笑いを誘い、

様々な感動を私達に与えてくれたことは、今回の最大の収穫ではないかと思えます。

同声合唱の部になると比較的練習がやりやすいこともあってか、もうほとんど高校と変わらないような歌で、本当に近頃の中学の実力を見せ付けられた感じでした。

歌に向かってただひたすらに自分の気持ちをつづけていく。今の私達に歌の素晴らしさ、大切さを教えてくれた演奏でした。

#うっちゃん通信(1)

先日の全国大会、大変にお世話になりました。正副理事長を始め、理事・スタッフの皆様にも随分と気をもませ、色々とお進言をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

この大会の開催は私が独断で手を挙げて、事後承認していただいた形でした。皆様方には昨年のおかあさん大会に続いてのご無理をお願いしました。昨年の経験を生かして運営が出来た分、少し楽だったかなとも感じます。昨年はジャンボリーが付いていましたので特別に忙しかつたのですが。

県外の方々から素晴らしい大会だった、お疲れ様とお褒めの言葉をいただきました。事務局長の至らなさをカバーしていただいた皆様のお陰なのです。と改めて、素晴らしい方々と一緒に仕事が出来た喜びを噛み締めております。

全国大会を終えて

コール・ココ指揮者

高原 景介

思いがけず県代表にして頂き、酷暑の盛岡に行ってきた。「ココ」も私も全国大会は初出場で、緊張感がありました。本番では良い演奏ができたと思います。歌っているメンバーの表情が輝いていたのが、強く印象に残っています。

可能な限り他団体の演奏を聞きました。レベルは様々ですが、衣装やパフォーマンスはいかにもお母さんコーラスの大会らしい華麗さを感じます。ただ、動きが大きくなると声質は劣化しハーモニーも乱れます。音楽としての合唱の質の追求と、見せる要素としてのパフォーマンスとの折り合いをどうつけるか、難しい問題だと思います。

結果についての感想を二つ報告します。一つは地域差で、完全な東高西低です。中国・四国・九州の二十団体の中で、「ひまわり賞」は四国の一団体だけ、残念なことです。もう一つはメンバー数で、三十人未満の二十三団体では「ひまわり賞」は十七パーセントで、

三十人以上の四十七パーセントに比べてかなり不利な結果です。実際三十人は欲しいなと感じています。東高西低の克服に向けて、頑張りたいものです。



コールたかはし

黒住 和子

母なる清流、高梁川に抱かれた四季の情緒溢れる備中の小京都、城下町「高梁」から、やってまいりました。これは、この度参加しました全国大会のプログラムに書かれている「コールたかはし」の紹介文の冒頭の言葉です。

私達二十九名は、盛岡市の県民会館大ホールで開催された「第二十二回全日本おかあさんコーラス全国大会」に、岡山県代表として参加致しました。大会は、八月二十一日から二日間行われ、北は北海道より南は九州までの五十七団体が出場し、私達は十五番目に力いっぱい歌ってまいりました。

この度の出場で三回目になりました。この度の出場で三回目になりました。勝り得た県代表です。県や高梁の名誉にかけても、恥ずかしい演奏はできません。その為に、今までの反省に基づき練習をしっかりと行い、参加しました。全国には私達よりも優れた、そして素晴らしい演奏をする合唱団が多くあります。でも私達としては、精一杯の満足いく演奏ができ、大変嬉しく思っております。発表曲は二曲のうちどちらか、三善 晃先生の作品で「えびがはねたよ」と「或る風に寄せて」です。魅力的なり

ズムとメロディ、そして不思議なハーモニーのついた曲で、やればやる程難しく、奥行きが深いや甲斐のある曲でした。

この大会を通して、出場された各団体の方々と交流したり、素晴らしいコーラスを聴くことができ大変勉強になりました。また、同日同志の親睦を、より一層深めることができました。この貴重な体験を生かし、さらに頑張っていきたいと思いますので、今後共よろしく御指導の程お願い致します。

終わりに、私達を支え励まして頂いた皆様方に、厚く御礼申し上げます。



中国合唱コンクールを終えて

高梁市立高梁中学校

音楽部顧問 林 美緒

「高梁中学校音楽部。ゴールド金賞」の近藤先生の声。「キヤーーー」と叫ぶことも忘れ、うそーっ！と、涙・涙……の表彰式。それはまるで昨日のことのように思い出される感動のときです。

あの日、涙で感動にひたつた二年生部員は、十一月二十八日の「高梁圍城コーラスフェスティバル」を最後に引退します。

思い起こせば私の高梁中学校音楽部での初仕事は、この三年生の入学式での「歓迎の歌」でした。その時の音楽部員は三年生二名、二年生七名のわずか九名でしたから、決して素晴らしい歓迎の歌とは言えませんでしたが、

新一年生の獲得に大きな期待をしながらのスタートでした。ところが入部した十名の一年生は、担任から「あの子に合唱が出来るんですか。」と言われるほどおとなしい生徒が多く、なかなか声が出ません。しかも立派な音痴の生徒も……。伴奏が出来ない生徒もいません。私と先輩部員達の落胆ぶりは想像下さい。

しかし現三年生が素晴らしい部員でした。一名の落伍者も出さず、素晴らしい先輩達に引っ張られながら頑張る力をつけていたようです。今では「先輩の声はすごい！」と後輩達に言われるようになっていました。これは、二、四小節ずつを何度か何度も歌えるようになるまで繰り返し行うバ

ーと練習を習慣づけてくれた先輩達の根気強さの賜物といえるでしょう。この現三年生部員達との山合いによつて私は大きなことを学ぶことが出来た。

音楽部という名の部ですから「出来ればピアノの弾ける部員を」「自分で楽譜が読める部員を」「出来れば美しい声の出る部員を」「……と言えませんが、願望を保持していたのですが、彼女たちは音楽的には未熟でも「一人一人のやる気」と「人と和する心」が大切であるということを持って実証してくれました。つまり美しいハーモニーは決して個々の音楽的スキルから生れてくるものではないと言ったことを私に教えてくれました。

今回の金賞は思いがけないプレゼントを頂いた気がしますが、このように二年生部員だからこそ、数倍の値打ちのある賞であったと感謝しております。

先日シンフォニーホールでの全国大会を見てそのレベルの高いハーモニーに感動し、私の学校ではどうにも超えられない厚い壁を感じました。でも「全国大会出場を目指そう！」を合い言葉に、素直で優しい心の部員達とともに部活動を楽しんでいく昨今です。

親愛なる合唱部員へ

岡山城東高校合唱部

顧問 森野 啓司

1999年8月28日(土)はおそらく特別な日の一つとして刻まれることだと思います。それは、「金賞」という結果が

ちではなく、他の誰にも経験できないほどの「立派な」十分間を過ごすことが出来たからです。コンクールは功罪の両刃を持つています。いままである一つの曲を木当に押し、また愛するように努力し、考えられるすべての方法と能力を結集して出来上がった、宝物のようなものを、一瞬にして否定されることもあるのです。いや、否定されない団体の方が少ないと言ったほうがよいでしょう。

実際僕がこの岡山城東高校合唱部を指揮した約十年の間、ずっと否定されつつ生きてきました。その結果いくつもの「愛した曲」が心の中から消え去ってしまいました。悲しかった。今回の金賞で一番うれしかったのは、本当に愛したこの二曲を嫌にならなくてすむってことかも知れぬ。

僕は今までこのコンクールに対してずっと挑戦してきたのかもしれない。コンクールで勝つことではなく、コンクールそのものに對して。選曲に付いてもよく悪評を受けましたが、基本的に愛せない曲はやりたくないものでその部分は絶対に譲りませんでした。コンクールに向かなくても、世の中には何百年も前から現代までの素晴らしい音楽が溢れています。でも、この素晴らしい音楽のほとんど全てが今のコンクールには向かない曲ばかりです。このことが残念でなりませんでした。コンクールは美しい曲を美しく、楽しい曲を楽しく歌うことさえも認めてくれないようでも悲しかった。

コンクールに本気で向き合ってしまったら、自分の音楽に対する思いや信念が違った方向に向いてしまうのではないかと、自分の音楽ではない方向に知らず知らずのうちに向かっていくのではないかと、いつも怖がっていたのかも知れません。我々は尚のメッセヤンジャーですから、その曲つまり演奏者が愛した曲が聞き手

に伝わる事が一番の喜びと思つています。問題は、上手いと思つてもらおうことではなく、何が伝わるのだかと思つています。今回の君たちの演奏が伝わったかどうかは聴衆に聞いてみなければ何とも言えません。僕は伝わったと確信しています。出来ればコンクールという場であれば、もっと受け入れられたかも知れません。実際僕もコンクールの時には、残念なことに聞き手が変わってしまふね。

コンクールの結果発表が終わったすぐ後、僕は「来年どうやら勝つてるか」ずつと考えていました。そして昔にも来年全国に行くためにはどうすれば良いのかを力説してましたね。いまこの文章を書いていて、それに気づいて思わず自分で笑ってしまいました。僕もついに音楽で勝つ勝負を争う……もしかしたらコンクールを愛する人間になつていく。

聴衆も僕たちの演奏に對して「いい演奏だったよ」ではなく、「金賞だったね」と横美の言葉を与えてくれた。ちよつと悲しいね。それより何でコンクールの後僕は素直に「いい演奏だったよ」といえないなかつたんだらう。G.O.I.Dのマークが付かないとその音楽の価値すら判断できなくなつてしまったのか。自信を持って、結果発表の前に「最高だったよ」となぜ言つてやれなかつたんだらう。コンクールにおけるG.O.I.Dの重みを改めて感じました。

確かに君たちの「音楽」は素晴らしい。十分間の幸せを運んだはずなのに……。城東の合唱部が初めて心をさらけ出した「記念すべき瞬間」だったのだから……。コンクールが我々を成長させてくれたのは事実だし、素直に嬉しかったけど、G.O.I.Dでなく「音楽」そのものの価値を追い続けていきたいですね。
(合唱部員に宛てた顧問の手紙から)

コンサート情報

<p>◆◇就実女子大学・短期大学グリークラブ第31回定期演奏会 と き：平成11年12月4日(土) 18時開演 と ころ：岡山市総合文化センターホール (岡山市天神町8-54) 曲 目：「うれしいなクリスマス」 「のほらうた」「ちいちゃんのかげおくり」 入場料：500円 コメント：今年の企画ステージ「ちいちゃんの…」 深い祈りを込めて取ります。 お問い合わせ：086542-2052(河井)まで</p>	<p>◆◇すみれコーラス創立10周年記念コンサート と き：平成11年12月5日(日) 14時開演 と ころ：デビット・ホール (岡山市総町1-40 ロイヤルホテル北) 曲 目：「心の四季」(高田三郎) 「羊飼ひ」(コダーイ)他、雪のふるまを 入場料：無料 コメント：初めての単独演奏会です。ピアノ独奏やティークイ ム有り。お気軽にお越しください。 お問い合わせ：086-228-0854(山川)まで</p>
<p>◆◇川崎医療福祉大学合唱団ちよらす 第6回定期演奏会 と き：平成11年12月12日(日) 13時半開演 と ころ：倉敷市公民館 (倉敷市本町2-1) 曲 目：「ゴッドマン」(南 安雄) 女声合唱組曲「やさしさは風に乗って」etc. 入場料：無料 コメント：指揮に坂本尚史先生、賛助出演に理大クリスタルコ ール等を迎えてお客様と共に楽しみたいと… お問い合わせ：086-464-3557(木村)まで</p>	<p>◆◇タナギコーラス第10回ファミリークリスマスコンサート と き：平成11年12月18日(土) 18時開演 と ころ：玉野市立総合文化センター (玉野市宇野) 曲 目：宗教曲「Ave Maria」他、ハンガリーの合唱曲 キャロルの祭典 他 入場料：500円 コメント：タナギの歌い納めはX'masコンサート。入場料の 一部は今年も王子ヶ丘の緑の復旧に。 お問い合わせ：0863-31-1277(長尾)まで</p>
<p>◆◇倉敷少年少女合唱団 第24回定期演奏会 と き：平成12年1月9日(日) 14時開演 と ころ：倉敷市公民館 (倉敷市中央1-18-1) 曲 目：「車椅子のおしやべり」、愛唱歌集 サウンド・オブ・ミュージック、絵巻正先生追悼演奏 入場料：500円 コメント：新団長に仁科喜代蔵先生を迎え、新入団員も多数迎 え一同張り切っています。 お問い合わせ：086-424-0107(船成)まで</p>	<p>◆◇岡山大学男声合唱団コーラル・コーラス第9回定期演奏会 と き：平成12年1月15日(土) 18時開演 と ころ：岡山市立市民文化ホール (岡山市小橋町1-1-30) 曲 目：「空に、樹に…」(新実徳英) 「舟」(木下牧子) 他 入場料：700円(前売：500円) コメント：1900年代最後の定演。40周年を前にして21世紀へ 力強く羽ばたく、ロータスマンの姿、歌声に感動。 お問い合わせ：070-5521-3795(松本)まで</p>
<p>◆◇ノートルダム清心女子大学グリークラブ第36回定期演奏会 と き：平成12年1月29日(土) 18時開演 と ころ：カリタスホール(清心女子大学内) (岡山市伊豆町2-16-9) 曲 目：「MISSA REGINA MUNDI」(ALFRED BAMEL) 「九つの無伴奏女声合唱曲」(小倉 節) 他 入場料：無料 コメント：心に響く、かけがえの無いものが見えるはずで す。皆様のご来場をお待ちしています。 お問い合わせ：086-252-5041(長谷川)まで</p>	<p>◆◇オラトリオ「メサイア」第2回演奏会 と き：平成12年2月20日(日) 14時開演 と ころ：くらしき作樂大学聖徳校 (倉敷市玉島長尾) 曲 目：「Messiah」第2部、第3部 指 揮：八尋和実 入場料：2000円 コメント：今年はパイプオルガンに加え、ストリングス付きで 方休・青勇・作樂ミュージックが空内合唱団の合同演奏です。 お問い合わせ：0865-62-2250(池田)まで</p>

井うつちゃん通信(2)

今年最大の事業も終わり、後はアンコンを残すのみとなりました。

アンコンは来年一月十三日(日)に開催します。今年の会場は早島町の「ゆるびの舎」です。新しいホールですので楽しみに参加して下さい。JR早島駅から徒歩で十分位、駐車場も整っています。

参加申込書はこのTUTTIと一緒に送らせていただきますので遅れないように申し込んで下さい。

また、連盟以外でも参加出来ますので誘い合せて参加して下さい。

次に、来年は全日本の役員改選年にあたります。したがって興連の役員も改選になり、改選のための臨時総会を一月二十三日(日)に開催することになりました。時

間・場所等は後日連絡いたしますので、取り敢えず時間を空けておいて下さい。

会場確保の都合で来年度の各事業の日程が決まっておりますのでお知らせします。

おかあさんコーラス大会：六月二十五日
岡山市民文化ホール

県人唱コンクール：八月二十日(日)
倉敷市公民館

中国コンクール：九月二十三日、二十四日
広島市

合唱フェスティバル：十月八日(日)
岡山シンフォニーホール

合唱フェスは2000年から六月開催に反します。もう一年我慢して下さい。